



PRHT-06004

2006年11月21日

株式会社ヒューマントラスト

07年4月、特例子会社ヒューマントラストフロンティア設立に向け アテネパラリンピック金メダリスト 土田 和歌子選手を採用

総合人材エージェント企業の株式会社ヒューマントラスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 阪本美貴子)は、2007年4月、障害者の雇用促進を目的とした特例子会社ヒューマントラストフロンティアを設立いたします。

当社では設立準備にあたり、2004年アテネパラリンピックで金・銀二つのメダルを獲得した土田和歌子選手が2006年11月16日付けで(株)ヒューマントラストに入社し、障害者雇用促進プロジェクト ヒューマントラストフロンティア設立準備室に所属しております。

(株)ヒューマントラストは、総合人材エージェントとして、多様なニーズに合わせて人材活用を提案してまいりましたが、今後は土田選手を迎え、障害者の雇用促進にも対応してまいります。

土田 和歌子選手の採用について

結婚後出産の為に一旦は競技生活を離れた土田選手ですが、無事出産を終えて、改めて「夢」であるパラリンピック2種目制覇に向けて挑戦したいという気持ちを強めていらっしゃいました。当社は総合人材エージェントとして雇用者の「夢の実現」を支援してまいりましたが、「夢」を追いかける土田選手の姿が、まさに当社の理念と一致していたことから、土田選手を採用いたしました。

また、障害者支援ということだけではなく、土田選手の「妻」「母」「選手」というマルチな生き方を社員及び登録スタッフにも共有してもらうことにより、さらなるスキルアップも期待するところです。

また、対外的なセミナー等でも講演をお願いし、土田選手を通して当社の考え方も理解していただきたいと考える次第です。

特例子会社ヒューマントラストフロンティアの事業展開について

ヒューマントラストグループ全体の障害者雇用促進はもちろん、障害者の人材紹介事業、スキルアップ支援、キャリアカウンセリング、研修サービスなど、障害者雇用促進に向けた全般的なサービスを提供してまいります。

また土田選手の経験を活かし、障害を持つアスリート支援(トレーナー養成、サポートマネージメント、引退後のケア環境づくり・就労支援)を行ってまいります。

土田 和歌子選手の今後の活動について

まず当面は、土田選手自身の「夢」を実現していただくため、北京パラリンピックに向けた練習が中心の活動となります。北京パラリンピック以降には、本格的に、障害者雇用促進プロジェクトの推進役として自身の経験を活かしていただきながら、「夢」、「家庭」、「就労」を両立させるような仕組みづくり、環境づくりに参画していただく予定です。

株式会社ヒューマントラストについて

ヒューマントラストは、1995年2月に設立されました。人材派遣、人材紹介、アウトソーシング、人事コンサルティングと順次事業を拡大し、売上高は初年度4億5千万円から2006年3月期183億円、2007年度3月期230億円(予測)と順調に推移しております。2015年には売上高1000億円を目指し、株式公開も視野に入れ、人材ビジネス市場の拡大を促進する総合人材エージェント企業として事業を展開する計画です。

(2006年11月現在:21拠点)。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社ヒューマントラスト 広報担当:仙石 TEL:03-3517-0740

土田 和歌子さんプロフィール



1974年10月15日 東京都生まれ

高校2年の時、友人とドライブ中に事故に遭い、車いす生活に。

1993年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードスケートを始める。

長野パラリンピックでは1500メートルで自身の世界新記録を更新し金メダルを獲得。1000メートルでも金メダル、100メートル、500メートルでは銀メダルを獲得した。

一方、陸上競技にも挑戦し2000年シドニーパラリンピック車いすマラソンで銅メダルを獲得。2004年アテネパラリンピックでは、5000mで念願の金メダル、フルマラソンでは銀メダルを獲得。日本人初の夏冬『金メダリスト』となった。

東京都教育庁、セイコ・ハシモトインターナショナルコーポレーション(S.H.I)所属を経て現職。2004年アテネパラリンピックであと一歩のところまで達成出来なかった、5000m・マラソンの2種目で金メダル獲得を目指し、2008年の北京へ向け始動。



<アテネパラリンピックにて>



<練習の様子>